



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月6日

上場会社名 WDBホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2475 URL <https://www.wdbhd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野敏光
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 大塚美樹 TEL 079-287-0111
 四半期報告書提出予定日 2020年11月9日 配当支払開始予定日 2020年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	21,592	0.7	2,529	6.1	2,551	6.9	1,648	15.9
2020年3月期第2四半期	21,434	5.0	2,384	△3.9	2,387	△4.6	1,422	△7.5

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,676百万円 (20.7%) 2020年3月期第2四半期 1,389百万円 (△6.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	83.10	—
2020年3月期第2四半期	71.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	27,933	21,013	73.8
2020年3月期	26,545	19,687	72.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 20,627百万円 2020年3月期 19,330百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	11.00	—	16.50	27.50
2021年3月期	—	15.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	22.50	37.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,800	△0.7	4,000	△19.3	4,000	△19.4	2,352	△24.5	118.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	20,060,000株	2020年3月期	20,060,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	220,841株	2020年3月期	220,763株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	19,839,177株	2020年3月期2Q	19,839,237株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルスによる影響を大きく受けました。2度目の緊急事態宣言こそ発令されなかったものの、様々な経済活動が制約を受けていることに加え、海外では米国をはじめとして感染がさらに拡大し続けており、長期的な不況に陥る可能性が高まりつつあります。

国内の雇用情勢に目を向けますと、厚生労働省が発表した有効求人倍率(季節調整値)は、2020年9月の数値が1.03倍となり、2020年6月と比べ、0.8ポイント低下いたしました。また、総務省が発表した完全失業率(季節調整値)は、2020年9月の数値が3.0%となり、2020年6月と比べ、0.2ポイント上昇いたしました。すでに新型コロナウイルスの影響を受けていた6月と比較しても、求人数はさらに減少いたしました。そのため、当社グループの主要顧客である医薬、化学、食品などの製造業における研究所・品質管理部門での、人材派遣サービスに対する需要も低下しております。

人材サービス事業では、第1四半期に発生していた派遣社員の自宅待機がほぼ解消され、通常通りの勤務に戻りました。また、多くの派遣社員の契約期限が9月末に到来しましたが、新型コロナウイルスを理由とした契約解除は、ほぼ発生しませんでした。4月、5月の緊急事態宣言中に自粛していた営業活動は、6月から徐々に再開し、現在は、ほぼ通常通りに戻っておりますが、新規の派遣依頼および受注数は、まだ回復しておりません。

CRO事業は、人材サービス事業に比べ、新型コロナウイルスが流行する前から、オンラインでの営業活動や在宅勤務が普及していた分野であり、新型コロナウイルスの影響はほぼ受けておりません。また、米国およびフィンランドにおいても、在宅勤務で業務を行えたため、業績への影響は軽微でありました。

以上のような活動の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、21,592百万円(前年同期比0.7%増)となりました。営業利益は、2,529百万円(前年同期比6.1%増)、経常利益は、2,551百万円(前年同期比6.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,648百万円(前年同期比15.9%増)となりました。また、当社が重視している指標である売上高経常利益率は、11.8%となりました。売上に比べ、利益が大きく伸びている主な理由は、第1四半期に営業活動を自粛し、第2四半期に遠隔営業の比率が高まったことにより、営業交通費が減少したことに加え、昨年度の同時期に発生した、新規出店に伴う費用が今年度は発生しなかった結果、販管費が低下したことによるものです。

セグメントごとの経営成績は、次の通りであります。

(注)セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

① 人材サービス事業

当セグメントの売上高は、19,127百万円(前年同期比0.3%減)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は、2,462百万円(前年同期比3.0%増)となりました。第1四半期から続く新規受注数の減少が影響し、売上高は前年を下回りました。一方、販管費の減少に伴い、セグメント利益は増加致しました。

② CRO事業

当セグメントの売上高は、2,302百万円(前年同期比11.4%増)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は、256百万円(前年同期比26.2%増)となりました。主に海外において、業績が堅調に推移したことが要因であります。

③ その他

当セグメントの売上高は、162百万円(前年同期比11.3%減)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は、4百万円(前年同期比450.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態について、総資産は27,933百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,387百万円の増加となりました。負債は、6,919百万円となり、前連結会計年度末と比較して、61百万円の増加となりました。また、純資産は、21,013百万円となり、前連結会計年度末と比較して、1,326百万円の増加となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して1,045百万円増加し、17,232百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,467百万円の収入(前年同期は699百万円の収入、前年同期比767百万円の収入増)となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益2,557百万円を計上した一方、法人税等の支払額が973百万円となったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、46百万円の支出(前年同期は391百万円の支出、前年同期比344百万円の支出減)となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支払額が、41百万円となったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、357百万円の支出(前年同期は273百万円の支出、前年同期比84百万円の支出減)となりました。これは、主に配当金の支払額が327百万円となったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想および配当について、2020年5月14日に発表した業績予想からの変更はありません。第2四半期時点での業績は、計画に対し上回っておりますが、今後、新型コロナウイルスの感染が再拡大する可能性が十分にあり、それがどの程度業績に影響を及ぼすか不透明のためです。当社グループとしては、当第2四半期連結会計期間末の状況が当面続くと想定し、業績を見通しております。今後、状況が大きく変わり、業績予想を見直す必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

なお、新型コロナウイルスの感染が再拡大した場合、当社グループの業績に影響を及ぼす要素を、以下に記載します。

①既存派遣契約の更新について

既存派遣契約の大半は、3か月ごとの契約更新を繰り返しており、次の契約期限は12月末になります。6月末、9月末では、大半の契約について、契約更新を獲得できましたが、顧客の業績に新型コロナウイルスの影響が徐々に表れているため、今後、契約更新率は低下していくことが予想されます。その状況下において、新型コロナウイルスの感染が再度拡大し、顧客の業績への影響が拡大した場合は、契約更新の獲得率がさらに低下すると予想されます。

②新規契約の受注について

第1四半期には、顧客の採用意欲が低下したことに加え、営業活動を自粛したため、例年に比べ、新規の派遣依頼および受注の件数が大きく低下しました。当第2四半期連結会計期間末も、新規の派遣依頼および受注件数はコロナ前の水準に戻っており、この状況は当面続くと予想しております。その状況下において、新型コロナウイルスの感染が再度拡大し、顧客の採用意欲がさらに低下し、再度の営業活動の自粛が必要になった場合、受注件数はさらに落ち込むことが予想されます。

③既存派遣社員の自宅待機について

再度の緊急事態宣言が発令され、スタッフが再び自宅待機せざるを得ない状態になった場合、当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,272,483	17,308,554
受取手形及び売掛金	5,315,764	5,456,398
たな卸資産	171,449	148,068
その他	243,649	510,339
貸倒引当金	△4,440	△242
流動資産合計	21,998,905	23,423,118
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,626,399	1,573,986
土地	748,080	748,080
その他(純額)	275,689	273,157
有形固定資産合計	2,650,169	2,595,225
無形固定資産		
のれん	307,912	250,157
その他	37,677	37,430
無形固定資産合計	345,589	287,588
投資その他の資産		
投資有価証券	88,501	82,619
敷金及び保証金	738,901	738,675
繰延税金資産	455,078	537,003
その他	268,005	268,838
投資その他の資産合計	1,550,487	1,627,136
固定資産合計	4,546,246	4,509,950
資産合計	26,545,151	27,933,069
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,043,102	1,964,068
未払金	322,932	176,244
未払法人税等	777,918	938,198
未払消費税等	999,447	810,617
賞与引当金	635,228	814,185
資産除去債務	—	9,018
その他	974,682	1,076,683
流動負債合計	5,753,311	5,789,016
固定負債		
役員退職慰労引当金	439,090	450,987
退職給付に係る負債	238,006	260,052
資産除去債務	239,437	230,629
その他	188,097	188,892
固定負債合計	1,104,631	1,130,561
負債合計	6,857,943	6,919,578

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	686,963	686,895
利益剰余金	18,382,882	19,704,250
自己株式	△743,591	△743,798
株主資本合計	19,326,255	20,647,347
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,720	9,637
為替換算調整勘定	△3,804	△21,350
退職給付に係る調整累計額	△5,229	△8,164
その他の包括利益累計額合計	4,686	△19,877
非支配株主持分	356,266	386,020
純資産合計	19,687,208	21,013,490
負債純資産合計	26,545,151	27,933,069

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	21,434,008	21,592,795
売上原価	15,795,907	15,952,791
売上総利益	5,638,100	5,640,003
販売費及び一般管理費	3,253,914	3,110,993
営業利益	2,384,185	2,529,010
営業外収益		
保険解約返戻金	2,670	—
助成金収入	108	22,163
その他	5,432	3,709
営業外収益合計	8,212	25,873
営業外費用		
為替差損	1,840	1,426
その他	2,727	1,479
営業外費用合計	4,567	2,906
経常利益	2,387,830	2,551,977
特別利益		
固定資産売却益	279	—
為替換算調整勘定取崩益	—	7,097
特別利益合計	279	7,097
特別損失		
固定資産売却損	—	216
固定資産除却損	24,775	1,100
特別損失合計	24,775	1,316
税金等調整前四半期純利益	2,363,334	2,557,757
法人税、住民税及び事業税	910,998	936,860
法人税等調整額	29,511	△79,989
法人税等合計	940,510	856,871
四半期純利益	1,422,824	1,700,886
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	52,170
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,422,824	1,648,715

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,422,824	1,700,886
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	752	△4,083
為替換算調整勘定	△35,346	△17,545
退職給付に係る調整額	1,044	△2,934
その他の包括利益合計	△33,549	△24,564
四半期包括利益	1,389,275	1,676,322
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,389,275	1,624,182
非支配株主に係る四半期包括利益	—	52,139

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,363,334	2,557,757
減価償却費	96,710	108,561
のれん償却額	54,007	53,213
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△121	△4,198
賞与引当金の増減額(△は減少)	127,062	178,957
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	11,806	11,897
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	40,196	17,815
受取利息及び受取配当金	△1,201	△2,516
支払利息	102	50
保険解約返戻金(△は益)	△2,670	—
為替換算調整勘定取崩益	—	△7,097
有形固定資産売却損益(△は益)	△279	216
有形固定資産除却損	24,775	1,100
売上債権の増減額(△は増加)	64,726	△140,634
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,766	23,380
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△45,444	△38,060
仕入債務の増減額(△は減少)	△74,648	△79,034
未払金の増減額(△は減少)	△768,223	△141,717
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△235,167	△120,649
その他	23,888	19,355
小計	1,676,087	2,438,395
利息及び配当金の受取額	1,201	2,516
利息の支払額	△102	△50
法人税等の支払額	△977,637	△973,571
営業活動によるキャッシュ・フロー	699,549	1,467,289
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△45,073	△35,194
定期預金の払戻による収入	44,936	43,257
有形固定資産の取得による支出	△205,005	△41,023
有形固定資産の売却による収入	279	1,775
無形固定資産の取得による支出	△6,510	△13,769
資産除去債務の履行による支出	△6,593	—
投資有価証券の取得による支出	△2,540	—
敷金の差入による支出	△227,365	△4,135
敷金の回収による収入	51,288	3,139
保険積立金の払戻による収入	6,112	—
その他	△1,276	△846
投資活動によるキャッシュ・フロー	△391,746	△46,795

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△6,189	△7,891
配当金の支払額	△267,359	△327,097
非支配株主への配当金の支払額	—	△22,365
自己株式の取得による支出	△119	△207
子会社の自己株式の取得による支出	—	△119
財務活動によるキャッシュ・フロー	△273,668	△357,681
現金及び現金同等物に係る換算差額	△35,346	△17,545
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,212	1,045,266
現金及び現金同等物の期首残高	13,275,043	16,187,529
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,273,830	17,232,796

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	人材サービス 事業	CRO事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,184,176	2,066,590	21,250,767	183,241	21,434,008
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,821	—	17,821	—	17,821
計	19,201,998	2,066,590	21,268,588	183,241	21,451,829
セグメント利益	2,391,133	202,994	2,594,127	825	2,594,953

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ガスインジェクション装置等やバイオ関連機器の開発製造事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,594,127
「その他」の区分の利益	825
全社費用(注)	△210,768
四半期連結損益計算書の営業利益	2,384,185

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	人材サービス 事業	CRO事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,127,633	2,302,584	21,430,218	162,576	21,592,795
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,517	—	10,517	—	10,517
計	19,138,151	2,302,584	21,440,736	162,576	21,603,313
セグメント利益	2,462,652	256,212	2,718,864	4,543	2,723,407

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ガスインジェクション装置等やパイオ関連機器の開発製造事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,718,864
「その他」の区分の利益	4,543
全社費用(注)	△194,397
四半期連結損益計算書の営業利益	2,529,010

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。